

教育関係者のための 特別講演会と展覧会観覧

子どもの美術とアウトサイダー・アート —生と芸術への問いかけ—

近代のアーティストたちは、子どもたちや精神的、知的に障がいのある人々の絵につよい関心を持ってきました。ピカソやクレー、そして、日本でも1920年代に活躍した古賀春江や三岸好太郎は、そうした流れにいち早く反応した画家たちです。

その一方で、教育や医学、福祉などさまざまな領域で、長い時間をかけて今日につながる人間理解とそのための制度が育ってきました。中でも、教育者たちは美術を通して子どもたちを育てるすべを追求し、医師たちは障がいのある人々の大きな可能性を造形表現の分野で見出してきました。今日、そうした流れは、アウトサイダー・アートあるいはエイブル・アート、といった言葉も生まれるほどに、日本でも世界でも大きな広がりをもつようになっています。では、美術館はそうした流れにどのように応えることができるのでしょうか。

私たち県立近代美術館はこれまで「人づくり・学びの場」として美術館を考え直してみようというプロジェクトに取り組んできました。それは美術館という空間や、美術館のもっているさまざまな資源を、教育に役立てるというだけではありません。さらに、人として生きていくこととはどういうことか、人が生きる幸福と芸術はどのように関わっているのか、という問いかけに美術館がどのように応えられるか考えたいと思っています。

今回のレクチャーでは、近代の美術からのまなざしが、子どもや障がいのある人々の芸術をどのように発見し、理解していったのか、またそれがどのような精神的伝統に根ざしていたかをお話したいと思っています。それと同時に、福祉や教育の現場の様々な方々と語り合い、美術館を人との出会いを育てる場にしていきたいと考えています。



古賀春江《蝸牛のいる田舎》1928年 油彩、カンヴァス 郡山市立美術館蔵

新しい神話がはじまる。

古賀春江の全貌

会 期：2010年9月18日(土)～11月23日(火・祝)

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山

休 館 日：月曜日(ただし祝日の場合は開館)、祝日の翌日

開館時間：午前9時30分～午後5時[入場は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般 1100円(1000円)、学生 950円(850円)、

65歳以上 550円、高校生 100円

※()内は20名以上の団体料金

中学生以下、障害者の方は無料です。

主 催：神奈川県立近代美術館、東京新聞

出品協力：東京国立近代美術館

講演者：太田泰人 (おおた やすと / 神奈川県立近代美術館普及課長。1976年東京大学文学部美術史学科卒業。1978-81年パリ大学付属美術研究所に学ぶ。1983年神奈川県立近代美術館学芸員となる。2004年より現職)

日 時：2010年11月20日(土) 10時30分—12時30分 講演+展覧会鑑賞

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂および展示室

対 象：学校の先生(学校、各種学校などに勤務する教育関係者)

定 員：70名(要申込)、無料

申込方法：ご所属の学校名、住所、参加者氏名、連絡先電話番号、Fax番号、メールアドレスをご記入の上、Faxかメールでお申込みください。

申 込 先：神奈川県立近代美術館 葉山 Fax. 046-875-2968 / メール public@moma.pref.kanagawa.jp

申込締切：11月13日(土)

交通案内：JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「海岸回り(逗11、12系統)」行きに乗り、「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」で下車(所要時間約18分)。



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

■FAX申込み用紙■ FAX:046-875-2968 神奈川県立近代美術館 葉山 特別講演会係 行き

※下の欄にご記入の上、切り取らずに送信してください。お申込み受付後に確認のご連絡を申し上げます。

ご所属の学校名

住所 〒

参加者氏名

E-mail

電話番号

FAX番号

■お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 tel.046-875-2800

■展覧会情報は、美術館ホームページでもご覧いただけます。
ホームページトップ <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>